

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	令和4年度は運営推進会議を書面での開催。令和5年度はコロナが5類に分類されたことに伴い、コロナ禍以前のように対面での開催を実施したい。	運営推進会議の目的に沿って、運営推進会議を対面で開催する。また開催にあたってはテーマを設定し、実施する。	従来通り、行政や包括支援センターの参加はもとより、新たに消防署や駐在職員の参加を募る。地域の方やご家族向けの内容で研修会や講演会を企画する。	12ヶ月
2	20	ご利用者がこれまでの馴染みの人や場所へはコロナ禍で会ったり・出掛けたりすることができなかった。だが、コロナが5類へと変更に伴い、面会もリモートから対面へと変更をしてきている。	法人の感染症感染防止策に沿って、面会や外出行事やご家族との外出を再開していく。	感染防止を図りながら、事業所での外出行事を定期的で開催する。また、ご家族との外出(冠婚葬祭等)のご要望には積極的に対応していく。	6ヶ月
3	31	下肢の潰瘍の処置が必要なご利用者が1名いらっしゃる。また、心不全等の持病のご利用者もいらっしゃる。医療機関と連携し、適切な受診や処置が必要となっている。	ご利用者の体調を確認し、異常時は早急に医療機関と連携し、入院せず生活できるように対応する。処置が必要なご利用者についても専門医を受診し、早期治療につなげる。	発熱等の体調不良がある際は早期に医療機関へ連絡し、受診を行うことで入院せず過ごせるようにする。週に1回の訪看の健康観察やかかりつけ医の往診等で、専門的な視点から健康管理を行う。	12ヶ月
4	35	夜間を想定した消防訓練、特養と連携した消防訓練は実施していない。昼間を想定した消防訓練は年に2回実施している。	夜間を想定して、夜勤者1名で対応する消防訓練を提案・計画を行う。	夜勤専従職員や夜勤を行う職員を対象とした夜間想定消防訓練を実施する。	12ヶ月
5	38	コロナ禍で外出行事などができていない。ご利用者の残存機能を活かした活動があまりできていない。	ご利用者や参加しやすい活動を計画し、残存機能の低下を予防したり、楽しみを感じられるように支援する。	コロナ禍であまりできなかった外出行事を計画し、実施する。(年6回程度)農園での野菜作りや食材の下ごしらえや日用大工などご利用者の得意な活動を計画し、実施する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。